

伸縮式クレーンクラブベア PAT.1852323号
危険防止(感電事故)裸トロリー方式→キャブタイヤーケーブル方式へ
クレーンクラブの給電方式の改造に

安全宣言!

- 取付工事簡単
- 軽量、低座
- ユニークなパイプ構造、ユニット式

（本体は最低3分割できます）
台車移動距離最長240mに実績あり

製品目録
新交通システム用電線装置
ケーブルキャリヤー移動機器
トロリー線支持導子
特殊電気絶縁物
架線電線一式製造販売

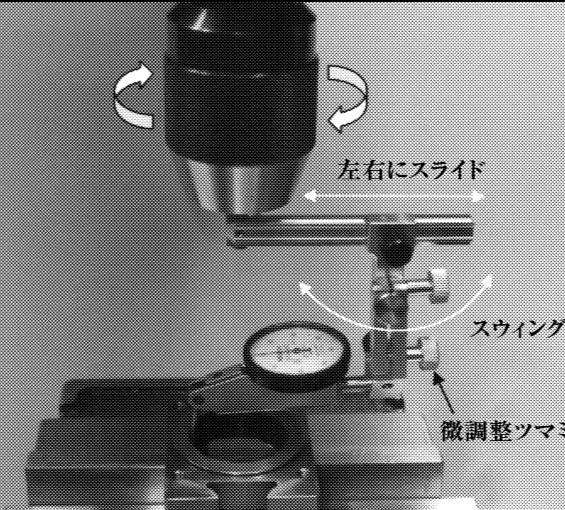
朝日リクナール株式会社
本社工場 T544-0012 大阪市生野区箕面2-4-9
電話 06-6757-4008 FAX 06-6757-4113

食品用・醸造用・化学用機器
設計・製作販売

関西金属工業 株式会社

代表取締役 美馬 徹

〒581-0039 大阪府八尾市太田新町7-7
072(949)0210 FAX 072(948)3734
<http://kankin.com>



さらに便利になった!!

トミナガの微調整付「ピックテストホルダー」

- ダイヤルゲージの測定値がよく見える
- 小径穴も芯出し可能(Φ5)
- 芯出径の変更が簡単にできる

(※ダイヤルゲージは別売りです)

富永工作所
〒577-0026 大阪府東大阪市新家東町1-41
TEL・FAX 06-6788-5324
<http://ttkosaku.jimdo.com/>

川の泥水から飲料水を作る! イオンフォール 電力を一切使用せず

- 川や池の水を飲料水にする物です。
低開発地や災害時用として簡単で持ち運びも容易です。
- 軽トラック等に載せ移動も出来ます。

大型タンク 小型タンク 銅イオン粒殺菌剤

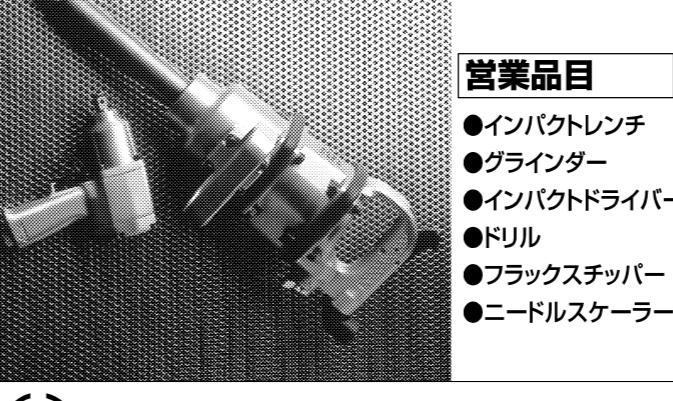
販売店募集中! モニター募集中!
○装置貸出致します○銅イオン提供致します

〒581-0823 大阪府八尾市桂町1-52-3
TEL.072-995-3004 FAX.072-995-3504
<http://www.towa-chemical.com/>

作業方法

- ①原水を手動ポンプやバケツで大型、小型タンクへ取水
- ②タンク入口の網金網過具で大きなゴミを除去。
- ③泥や砂などはタンクへ
- ④タンクを静置3時間以上で異物を自然沈殿させます。
- ⑤タンク内へカゴに入れた銅イオン殺菌剤で食中毒菌、一般細菌、レジオネラ等殺菌不活性化し、悪臭・ヌメリを防止します。
- ⑥3時間以上経過後タップ上部の蛇口を開き浮遊物を流し出します。
- ⑦その後で蛇口を開き上澄み水を排出し下に設置の布ろ過部を取り飲料水にします。
- ⑧更に安全を期し、大型タンク上澄み水を小型タンクへ取水し同工程を行なう事で更に安全な飲料水になります。
- ⑨大量の泥水を含む水の時は、大型タンクで二重三重ろ過沈殿で安心。

信頼のブランド A.C.E エアーツール AIR TOOL



営業品目

株式会社 謹訪鉄工所
〒577-0825 大阪府東大阪市大蓮南5丁目3番5号
TEL.06-6728-7707 FAX.06-6736-2336

エア・ミキサー AIR MIXER

耐薬品性アップ
低騒音
高出力
高性能
安全
安価

爆発・引火の心配なし。

● 防爆用軽量エアミキサー MO5-1800BN
● 高粘度液体にも耐久性抜群 カタログ贈呈

光陽産業株式会社
<http://www.koyo-sangyou.jp>
〒578-0955 東大阪市横枕南4-29 TEL.072-963-0017(代) FAX.072-964-2264

モノづくり 若い世代へ伝える

東部大阪で、とりわけ中小工場の集積度が高い東大阪市内では、10年来、地域の青少年にモノづくり体験の場を提供する有志の活動が続いている。継続の困難さを抱えつつ、青少年との接点に力を入れる現状を追った。

東部おおさか

産学と連携し製造業の担い手を育成



八尾市は製造業の担い手を育てるため市内企業と連携し、小・中学生を対象とする「モノづくり教育」に力を注いでいる。2013年度は口ぶりなどをを使った体験教育を始めた。2012年度に始めた中学生向けの「ロボットプログラミング連続教室」は、奈良工業高等専門学校を対象に開催され、24人を対象に開催された。

学校の科学部・技術部の生徒を対象に開催された。2013年も8月から市内6中、奈良工業高等専門学校を対象に開催され、24人を対象に開催された。

向けて、「ロボットプログラミング連続教室」は、奈良工業高等専門学校を対象に開催され、24人を対象に開催された。

2013年度は、口ぶりなどを使った体験教育を始めた。2012年度に始めた中学生

に充実させている。教育メニューを例年以上に充実させている。

12年度に始めた中学生は、口ぶりなどを使った体験教育を始めた。2012年度に始めた中学生

に